

奥井 慎太郎

高68期

アフリカ タンザニアインターン生



私は現在早稲田大学に通っていますが、これまでの学生生活はとても褒められたものではありませんでした。志望校に合格したのは良いものの、その後の目標も無く、大学の授業をただこなす日々。「移民と呼ばれる人々が様々な面で不当な扱いを受けている状況を改善したい、また現地で雇用を生むことで経済的な理由による移民を出来る限り減らしたい」という将来のビジョンを頭に思い浮かべるだけで行動に移せずにいました。そんな私が重い腰を上げ、途上国の雇用創出に貢献したいという思いで、現在アフリカでインターンに参加している背景には仲間の存在が大きく関わっています。

浪人した私にとって休学の選択は決して容易いものではありませんでしたが、頑張っている仲間の姿が励みになり自身を律する機会を与えてくれました。その点で生野高校の学生は大変恵まれているように思います。なぜなら生野には部活に学業に勤しむ仲間が大勢いて、卒業後も周りには刺激を与えてくれる仲間が大勢います。高校時代というかけがえのない時間を共有した仲間をどうか大切にしてください。生野高校の仲間たちの存在はいつの時代も刺激を与えてくれ、迷った時には背中を押してくれますから。

そして小さなことから構いません、行動を起こして下さい。私は今その大切さを身を以て感じています。何も成し遂げていない私が母校の100周年記念事業企画への寄稿という大変光栄な機会を頂けたのも全てが行動の賜物だからです。

小さなことから構いません、行動を起こせば面白いことに周りや、自分の中で何かが変わってくるのです。

■プロフィール

奥井 慎太郎（おくい しんたろう）

生野高校ではサッカー部主将を務め、3年次9月まで部活動に励む。

現役はあえなく志望校に届かず1年の浪人を経て、2017年早稲田大学文化構想学部に入學。

大学で「移民」に関する問題に関心を持ち、2019年より大学を休学し、アフリカ・タンザニアにてゲストハウスを現地人と日本人学生で運営するインターンに参加中。